

人類を救うために作られた 巨大男根彫刻

奥多摩最古の性神「姫乃石観音」の怒りを鎮めるため、奥多摩一の鬼才彫刻家・永畑智大氏に、対となる巨大男根像の制作を依頼した。完成するまではどのような姿になるのかわからなかったが、巨大で歪曲、亀頭部には人間の顔のようなシワがある。これが神の怒りから人類を救う彫刻だ。



怒り狂うヒメ、鎮める寡黙なオトコ

奥多摩の秘宝「ヒメノイシ」の話に戻ります。ヒメノイシが引き上げられた村はダムに沈んでしまっただけで今は何も残っていないんですが、これと対になる男性器ももしかしたらダムの底なのではないのか、と私は思うのです。近年頻発している土砂災害は、この男性器が沈んでしまっただけで起こったことによる・・・つまり、人類に対してヒメノイシが怒りを抱いていて、そのせいで土砂災害だつたりとかが起きているような気がしています。それを食い止める為にこのダムに沈んでしまった男根の代わりに新しい男根を、最初の男根を作ってもらおう、お怒りを鎮めていただくという事で、今回この対となる男性器を、奥多摩の彫刻家である永畑さんに今回依頼をしました。それがこちらの男根です。これが神様の怒りを鎮める為に作られた男根なのです。すごいでしょうこれ。この男根像を作った永畑さんというのは普段地上階の奥多摩美術館で製作をしている芸術家なのですが、普段は女性器を作っているので、慣れない男性器の形をとるのがとても大変だ、ということをおっしゃっていました。すごく悩みながら作ってくれたのですが、最終的にはこういうものが出来上がって、私は大変感激しています。これで人類が救われるんですよ。そしてこれ、なんと高速で回転します。桃色の巨大男根はまわっています。ヒメノイシの怒りを鎮めるために。



高速回転する巨大男根彫刻。まるで来客した観客を蹴ちらすかのように回転している。



奥多摩を代表する芸術家・永畑智大氏が、巨大男根を製作している様子。

